

	子どもの声・姿・意識	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・技能    ◎思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 ＜キャリア・未来デザイン教育の視点＞ [探究的な学びの視点]
第一次	モルモットを飼うことを伝え、材への熱意を高める。(2)			
	・学校で飼っているうさぎが大好きだから嬉しい。 ・モルモットってどんな動物だろう。 ・名前を付けたい。 ・自分たちにお世話できるかな。	○モルモットを飼うことを伝え、イメージを膨らませる。(1) ○動物をお世話することの楽しさや難しさを考え、全体を想像する。(1)	・モルモットとの出会いを大切にするため、教員側がモルモットの可愛さや世話の楽しさを伝える。 ・世話することの難しさに気づき、教室にモルモットが来たらどうなるかを考えられるようにする。	[1:課題を見出し、把握している] ＜③課題対応能力＞ ◎調べたことを生かしてモルモットを適切に育てるために、自分なりに考えながら行動している。
	モルモットと触れ合ってみる。課題の把握(7)			
	・触ったり、抱っこしたりしたいな。抱っこはどうすれば持ちやすいかな。 ・普段は何を食べるのだろう。ペットフードだけでいいのかな。 ・好きなことや嫌いなことは何かな。 ・学校のウサギと何が違うのかな。 ・プロの人に育て方を聞いてみたいな。 ・毎日お世話しているから好きなことが分かってきたよ。	○モルモットと触れ合い、小動物の温もりに気付く。(3) ○モルモットの育て方を調べる。(2)  ○もっと仲良くなるにはどうすればいいか考え、調べる。(2)	・モルモットとどうやって関わっていきたいかや可愛かったところなどを聞く。 ・好きな食べ物や注意点などの児童が気付いたことを拾い、共有していく。 ・自分たちではなく、モルモットが過ごしやすい環境とはどのようなものかを考えられるようにする。	○モルモットには適した環境があり、人の暮らしと違うことを理解している。＜②自己理解・自己管理能力＞＜①人間関係形成・社会形成能力＞[3:協働して学んでいる] ＜④キャリアプランニング能力＞ ●モルモットとのふれあいを通して、より過ごしやすい環境を作ろうとすすんで活動している。[1:課題を見出し、把握している] [2:課題解決の方法を考えている]
第二次	自分たちがモルモットのためにできることは？ 過ごしやすい空間作り(8)			
	・モルモットのためにできることはないかなあ。 ・寒くなってきたから、毛布とかがあったほうがいいかな。 ・教室の中だけだと暇かなあ。 ・遊び道具があったほうがいいかも。 ・小屋が狭いから広いところに連れて行ってあげたい。 ・外だと逃げてしまうかもしれないからどうしようかな。 ・外に置ける遊び場を作りたいな。	○モルモットがさらに過ごしやすくなるために自分たちができることを考える。(2) ○モルモットが遊べる空間や遊具づくりをする。(3) ○モルモットと一緒に遊ぶ。(1) ○モルモットがより快適に遊べるように遊具を繰り返し改良する。(2)	・学校にある道具や材料を提示できるようにしておく。 ・正しい道具の使い方を教えたり、安全面に注意しながら見守ったりし、児童が作業しやすい環境を整える。 ・児童と一緒に楽しむ ・振り返りに生かせるように記録を取っておく。 ・前回の改善案を提示し、今日の流れが分かるように道筋を立てる。	◎計画の過程で発生した問題から課題を見出し、協働しながら解決方法を探すことができる。 ＜①人間関係形成・社会形成能力＞＜③課題対応能力＞ [1:課題を見出し、把握している] [2:課題解決の方法を考えている] ○ものづくりに必要な技術や手順を知る中で、必要な技能を身に付けることができる。[4:学びを振り返り、次につなげている。] ＜③課題対応能力＞
第三次	モルモットとのお別れ。お別れ会はどうしようかな。(6)			
	・モルモットとのお別れが寂しいな。 ・たくさんの人にモルモットを可愛がってもらいたい。 ・最後にみんなで写真を撮りたい。 ・これからお世話をしてくれる人に学校での様子を伝えたいな。 ・楽しかった思い出を教室にも残しておきたいな。	○モルモットとのお別れに向けて何をしたいか考える。(1) ○モルモットの可愛さを伝えられるように、発信する。(4) ○モルモット・飼育員さんに手紙を書く(1)	・モルモットと過ごせる時間が短いことに気付けるようにする。 ・モルモットの良さを伝えられるような手段や手立てを提示する。 ・手紙の書き方や、言葉遣いについて国語の学習と関連付けて指導する。	◎これまでの活動を振り返り、モルモットのことをどうやって伝えるべきかを考えることができる。 [1:課題を見出し、把握している][2:課題解決の方法を考えている][3:協働して学んでいる] ＜①人間関係形成・社会形成能力＞＜③課題対応能力＞ [4:学びを振り返り、次につなげている]
材（モルモット）のもつ価値			材（モルモット）に寄せる子どもたちの思いや願い	
・モルモットの体温に触れたり心臓の鼓動を聞いたりすることで生命の尊さを直接感じるができる。  ・モルモットを世話することで、生き物を大切にすることができる。  ・モルモットが快適に過ごすための工夫、育て方などを知り、生き物の世話をすることの楽しさや大変さに気付くことができる。  ・モルモットのために何ができるかを考え、自分なりに行動することができる。			★モルモットをお世話して、仲良くなりたい。  ☆モルモットが過ごしやすい環境を作りたいと願っている。 ☆自分たちのモルモットの可愛さを様々な人に知ってほしい。 ☆モルモットといっぱい遊びたい。	
			★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い	